

みずほCustomer Desk Report 2017/10/16号(As of 2017/10/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.29 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.24	1.1831	132.81	0.9751	1.3263	0.7827
SYD-NY High	112.30	1.1875	132.94	0.9770	1.3337	0.7898
SYD-NY Low	111.69	1.1805	132.16	0.9705	1.3249	0.7815
NY 5:00 PM	111.86	1.1825	132.21	0.9746	1.3282	0.7895
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.26/8.66		△25RR	1.485	Yen Call Over	
NY DOW	22,871.72	30.71	債券市場			
NASDAQ	6,605.80	14.29	日本2年債	-0.1410	0.1bp	
S&P	2,553.17	2.24	日本10年債	0.0640	▲0.3bp	
日経平均	21,155.18	200.46	米国2年債	1.4929	▲2.0bp	
TOPIX	1,708.62	8.49	米国5年債	1.8998	▲3.8bp	
シカゴ日経先物	21,265.00	250.00	米国10年債	2.2730	▲4.5bp	
ロンドンFT	7,535.44	▲20.80	独10年債	0.4030	▲4.2bp	
DAX	12,991.87	8.98	英10年債	1.3670	▲1.4bp	
ハンセン指数	28,476.43	17.40	豪10年債	2.7920	▲1.0bp	
上海総合	3,390.52	4.42	為替市況			
USDJPY 3M Vol	8.57	▲0.24%	USD/CNH	6.5683	▲0.0100	
USDJPY 6M Vol	9.15	▲0.08%	ドルインデックス	93.09	0.03	
EURJPY 3M Vol	8.29	▲0.13%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	9.21	▲0.00%	CRB指数	184.829	1.55	
			NY金	1,304.60	8.10	
			WTI	51.45	0.85	
			Dubai Spot	55.53	0.51	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月13日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	-	中 貿易収支	9月 \$28.47B	\$38.00B
	-	中 輸出/輸入(前年比)	9月 8.1%/18.7%	10.0%/14.7%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.1%/1.8%	0.1%/1.8%
	15:00	EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	9月 0.0%/1.8%	0.0%/1.8%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	9月 0.5%/2.2%	0.6%/2.3%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.7%	0.2%/1.8%
	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	9月 1.6%	1.7%
	21:30	米 ローゼン・グレン・ボストン連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	10月 101.1	95.0
	23:25	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
10月14日	0:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

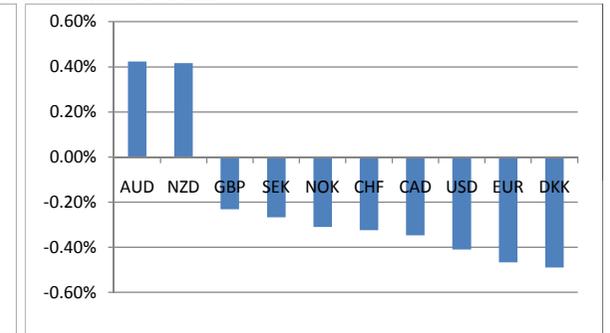
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月16日	10:30	中 CPI(前年比)	9月 1.6%	1.8%
	10:30	中 PPI(前年比)	9月 6.4%	6.3%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	10月 20.5	24.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は112.24レベルでオープン。特段材料の無い中で上値重く推移し、ストップオーダーを巻き込みつつ112円ちょうど近辺まで下落。その後、中国9月貿易収支が発表され、284.7億ドルの黒字(予想:380億ドルの黒字)と市場予想比黒字額が縮小していたものの、マーケットの反応は限定的。後場に入り、日経平均株価が200円超の上昇幅を見せる中、ドル円は一時112.20近辺まで反発する場面が見られたが、依然として上値の重い地合は変わらず、徐々に水準を切り下げて112.03レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	欧州時間のドル円は112円前半で推移。朝方は112.03レベルでオープンし、一時111.86まで下落。その後はドルが底堅く推移する中でドル円も堅調となり、112.22レベルでNYへ渡った。ポンドは1.32台半ばから1.33台前半で上下動。朝方は1.3275レベルでオープン後、欧州時間序盤からユーロ圏を中心にポンドが上昇し、一時1.3322まで上昇。その後はドルの底堅さに押され、1.3249まで反落し、1.3274レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は111.86まで下落する場面もあったがすぐに112円台を回復し、112.22レベルでNYオープン。朝方発表された米9月消費者物価指数(前月比)は+0.5%となったが、ハリケーンに伴う一時的なガソリン物価の大幅上昇が主因との見方が強く、食品・エネルギーを除くコアCPI(前月比)は+0.1%と市場予想を下回った。同時に発表された米9月小売売上高はハリケーンの影響で低下した前月から大幅に増加したが、ハリケーンの影響によりプルが生じているとの見方も強く、市場はインフレの弱さを嫌気する形で米金利の大幅低下と共にドル売りで反応。ドル円は一時111.71まで急落。一旦反発する動きも見られたが、再び下値模索の展開となり、安値となる111.69をつけた。その後、発表された予想比強めの米10月ミシガン大学消費者マインドや、堅調な米株を横目に111.97まで反発。しかし、米金利が冴えない動きを見せる中で112円台を回復することは無く、午後は111.80付近でのレンジ推移が続き、111.86レベルでクロスした。一方、ユーロは1.1807レベルでNYオープン。朝方発表された弱い米経済指標を受けて米金利低下と共にドル売りが強まると、ユーロは高値1.1875まで急伸。しかし、今週の高値である1.1880が意識され、積極的に上値を追って行く展開とはならず反落。その後も特段材料の無い中でユーロ売りが強まり、ユーロは1.1811まで下落し、1.1825レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・西谷

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30-112.10	1.1750-1.1850	131.50-132.50

【マーケット・インプレッション】

先週末の海外市場は、総選挙での自民党優勢ながらも安倍首相の支持率は低下との報道にドル円は112.00割れへ下落。発表された米CPI・小売売上高は共に市場予想を下回る数字に米金利は低下、FEDエバンスの急激な利上げは景気の悪化を引き起こすリスク伴うとの発言もあり、111.70近辺まで続落。本日はFRBが目指していた米CPIの悪化を受けてドル売りが継続、ドル円の上値重く展開を予想する。